

躍進

YAKUSIN

No. 14

株式会社 加藤組社内報「躍進」

発行日/平成4年1月1日

発行/株式会社 加藤組

男鹿市脇本脇本字向山18-6 TEL (0185)25-3001(代)

FAX (0185)25-2234



KATOGUMI CO.,LTD

株式会社 加藤組

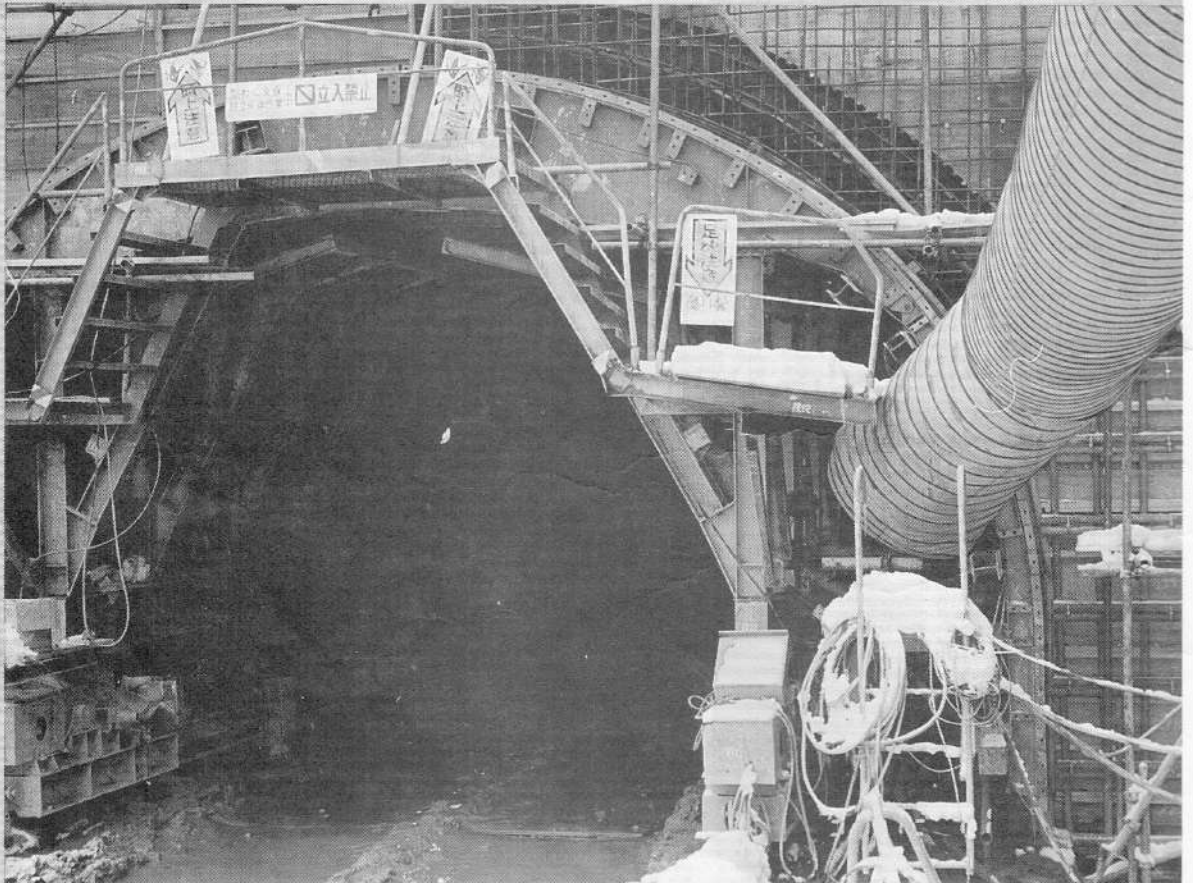
光 飯 商 事 株 式 有 限 公 司 日 本 ア ス コ ン 株 式 有 限 公 司
秋 田 プ ロ ッ ク 工 業 株 式 有 限 公 司 秋 田 建 設 運 輸 株 式 有 限 公 司



謹賀新年

平成四年元旦

トンネルの向うに 明るい未来を展く



東北横断自動車道 岩沢工事用道路工
羽沢建設(株)・(株)加藤組共同企業体で頑張る

土木主任

伊原 勢田

喜久文 康久仁

年頭所感



協力会会頭

加藤 義孝

この人の言葉に

苦しいこともあるだろう
言いたいこともあるだろう
不満なこともあるだろう
腹の立つこともあるだろう
泣きたいこともあるだろう
これらをじつとこらえてい
くのが男の修行である
というのがあります。
社会人として、家庭人とし
て生きるうえでも大切な言葉
であり、精神的な支柱として
大事な言葉だと思えます。
戦後、日本は恒久平和を誓
っておりませんが、政治経済か
ら環境問題まで、地球的規模
で国際協力、貢献を推進する
立場にあります。

昨年バブル経済の崩壊、
政治的には新内閣の発足、国
外では湾岸戦争、ソ連の政変
など大きな出来事があった年
でした。

当社の従業員の大部分は五
十歳未満ですから実感が湧か
ないでしょうが、真珠湾攻撃
の五十周年の年でもあり、半
世紀の歴史の重みを感じます。
昭和十六年十二月八日午前
二時五十五分（ハワイ時間で
は七日午前七時五十五分）が
日本とアメリカが戦闘状態に
突入した瞬間です。当時、私
は学生でしたが、強い衝撃を
受けました。

この作戦の総指揮官は、山
本五十六連合艦隊司令長官で
したが、一年半後の四月十八
日に、最前線で作戦指揮中、
米軍機に撃墜され戦死した悲
劇の武人といわれた人です。

それは苦難の道でしょうが
山本長官の言葉を思い出して
努力して下さい。
勇敢に実行し、意義ある年
とするよう切望するとともに
ご家族の皆様のご健勝を祈念
し、年頭のご挨拶とします。

挑戦、創造、感動

平成4年度
基本方針

'92エキサイティング・カンパニーを目指そう

社長 加藤 義光



皆さん、新年おめでとうご
ざいます。
ご家族お揃いで明るいお正
月をお迎えのことと存じます。

建設業をめぐる情勢は年々
厳しくなっており、特に昨年
は国の内外とも多難な年であ
りました。加えて建設業にお
ける人手不足は益々深刻化し
新規採用も思うように実現で
きず、従業員の皆さんは多忙
に明け暮れた一年であった
と思います。大変ご苦労様で
した。

新しい年を迎え、この難局
を打開するため、従業員が一
丸となって努力していかなく
ればなりません。そこで、今
年の会社の基本方針を「挑戦
創造、感動——'92エキサイテ
ィング・カンパニーを目指そ
う——」と定めました。

挑戦

上から与えられた仕事を言
われたとおり几帳面に消化し
ていくことも大切ですが、そ
れだけでは物足りません。も
う一步進めて、自主的に仕事
に挑む、立ち向う積極さが欲
しいと思います。

仕事に追われるようでは、
ただ単に仕事に従事している
に過ぎず、計画どおりの進行
も難しくなりますから、逆に、
自分から仕事を追いかけると
いう気概が必要です。そのた

めには常にチャレンジャーと
してのファイトをもって行動
して下さい。

創造

建設業の仕事の大部分は、
新しい物を造りだすものです。
物を創造する喜びを常に味わ
える仕事に従事している幸せ
を実感できるようにしなければ
人前だと思えます。

創造とは、形のある物だけ
でなく、考え方や手法につい
てもいえることです。従来の
工法を踏襲すれば無難ですが、
それでは進歩がありません。
少ない物、少ない人、少ない
金を有効に活用して仕事を成
し遂げる手法を創造すること
が私たちに与えられた最大の
使命であります。

感動

漫然と暮らし、惰性で仕事
をしている人には感動があり
ません。上司の指示でも、自
分の経験でも、聞き流し、見
逃すようでは仕事に活かされ
ません。指示でも経験でも、
すべてが完全なものばかりで
ないかも知れませんが、感受
性が豊かであれば、欠けてい
る部分の是正、意見具申など
によって完成に一步でも近づ
くことができます。

感動のない人には進歩があ
りません。職場のなかの一挙

手、一投足に、打てば響くと
いう感受性をもつことが大切
です。

以上申し上げた、挑戦、創
造、感動の三点を頭の中に入
れて行動することによって、
活力ある職場が造られます。
新しいものに挑むというファ
イトは、時には勇み足となっ
て失敗することがあるかも知
れませんが、しかし、大きな目
標に向かっての小さなつまず
きは許されるものです。その
つまずきを教訓にして、大き
く前進、向上するよう期待し
ております。



こんにちは
赤ちゃん

土木課

渡部 邦明さん

の長男

渡部美穂子さん

O.A.システム課
の長男
圭祐 ちゃん

平成三年十一月三日生



輸送副主任
小坂郷太郎
7.8.15生

昨年は、病気で入院、怪我で入院——と続き、長期間会社を休み、皆さんに大変ご迷惑をかけた一年でした。

五回目の申年、ということ
は定年の年でもあります。これまで蓄積された私のすべてをだしきり、有終の美を飾れば幸いです。
よろしくお願ひします。



OAシステム課長
栗森吉照
31.4.12生

OAシステム部を引受けて六年目の今年は、自分自身とOAシステム部の飛躍の年にしたいと思ひます。

この五年間、ソフトの開発に当たっては、富士通の指導を受け、社内の方々の協力により、どうか一人前に育つたと思つております。
今年、直轄の業社が十社も増えることになりましたので、勉強元年と位置づけ、コンピュータ以外の勉強も通して、幅広い人間になりたいと思つております。



第36海光号艇長
本川良忠
19.10.20生

月日の流れは早いもので、つい数年前に年男だったと思つていたのに、もう四回目の申年を迎えてしまいました。

今年こそ、今年こそと決意を新たにしているのに、実績があがらず、シルバークレー

年男、年女の抱負

視て聴いて大いに話そう

今年、年男です。猿は賢い動物で、意味がよくわからなくても人間の真似が上手で、猿真似などという言葉もあります。見ざる、聞かざる、言わざる」という三無主義の諺が有名です。

しかし、無関心な人が増えているのは困った現象で、特に会社という組織のなかでは、なんでもよく観察し、他人の話を傾聴し、そして自分の意見を堂々と発表する積極さが必要でしょう。

会社の基本方針にそつて、何ごとにも感動する柔軟な気持ちが必要です。



第36海光号副艇長
小野利光
31.9.1生

私の職場である日本海に、新しい年、私の申年の幕明けを告げる汽笛が響きわたり、サア頑張るぞ、と決意する。

今年、仕事とレジャーが融合し合う年だといわれていますが、生活の向上こそ強く望ま



秋田建設運輸
菅原新一
19.11.24生

今年、年男、私のひとつの大きな節目であり、人生の後

の頭をなで、シワの年輪が増えた自分の顔に気合をかけた毎日は、
日本海の波の向うに希望を求め、協調の明りを灯したい。

半に向つて大事な年であると思ひます。
今年こそは、今までの今年こそはでなく、頭のてつぺんから足の爪先まで、安全の二文字を浸み込ませて、真の今年こそはの年にしなければなりません。

生コン運搬に当たつて、決意を新たに、事故、災害を絶対に起こさないよう注意し、明るい年になるよう頑張りたいと思ひます。



機械主任
鎌田定光
31.1.16生

シートベルト、ライフジャケットで身も心も引締めて頑張るぞ。

昭和五十八年に入社したので、足かけ十年になり、しかも申年生まれの年男です。

今年こそ、と緊張し過ぎてもだめですが、何かいつもの正月と違った感じがします。入社以来、ずっとアスコンに勤務していますが、生コンでもアスファルトでも、ひとつひとつの素材はバラバラでもこれらが結束して、建物や道路の基礎になりますので、私も生コンやアスファルトのよ

うに、会社の基礎固めに少しでも役立ちたいと思ひます。



男鹿工場長代理
米屋真一
31.6.1生

会社に入社したのが昭和十五年の申年でありました。今年が申年ということですので、今年こそ一回りをこの会社ですごしたことになります。

この間に世の中の状態も急速に変わってきました。時代の波に乗り遅れないよう公私共努力したいと思ひます。



建設機械課
鈴木正美
31.5.7生

十二年前の申年に加藤組に入社し、新しい職場で頑張る決意をしたのが、つい昨日のことのように思ひだされます。

建設機械の運転でも、自身自身で進歩した自信がありません。今年こそ初心に戻つて向上を目指したいと思ひます。

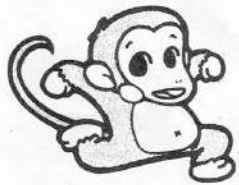
今年、私にとって二度目の申年を迎え、年女というこ

とになり、そろそろ花嫁修業をしなければなりません。まだまだ実感が湧きませんが、会社の仕事もやつと興味を覚えるようになりたい。今年を大きな節目にして、仕事を頑張つていくなかで、女性としての素養も身につけていきたいと思ひます。
よろしくご指導がいます。



総務課
高桑美香子
43.4.25生

今年、二回目の申年を迎えました。これを機会に、目標を新たに、いろいろなことに挑戦し、悔いの残らないよう、また、私の人生の想い出に残る年にしたいと思ひます。
最近、生花教室に通い始めましたが、なかなか思うように上達しません。これは自分の努力が足りないせいですが、一度心に決めたことですので諦めないで努力すれば、必ずよい結果がでることを信じて頑張ります。



現場レポート

秋田市副都心の基盤を造る

土木係長 石川 守



工事概要
 下水管布設 二五〇%管 一、一二〇m
 雨水処理施設 一〇〇〇%管ほか 五四〇m
 マンホール 五四個
工事期間
 平成四年二月二十九日まで

秋田市の東南部、国道十三号線に接続する高台に広がる原野が、広域、肥大化する秋田市の新しい中心地として開発されている御所野ニュータウンです。

二年前、当社でも分譲住宅を建築して売り出したのが、御所野ニュータウンの始まりで、西に海を控えている秋田市としては、必然的に東南方面に広がらざるをえないわけです。

近代都市づくりの基盤は下水道の完備です。当社が地域振興整備公団から受注して実施しているのが、その下水道と雨水処理施設工事です。

昨年十月に現地に乗り込み文字どおりの原野に千喙口径の雨水処理管の埋設から着手しましたが、泥土に続く泥土で、なかなか先が見えず、始めの頃は、計画的な進行について全く自信がありませんで

地元の新秋管業の協力をえした。

現場は、海岸からかなり離れているのですが、高台であることもあって、海からの風

ていますが、こどもご他聞にもれず、作業員不足で難航しています。
 十二月に入ってからは、工種ごとにA、B、Cの三班編成で進めています。必要人員の確保が最大のポイントで現場代理人としては、今日の出勤者は何人か、いつ休まれるかが心配で、毎日ハラハラのしどおしです。

現場は、海岸からかなり離れたな労働事情のなかにあつて毎日が緊張の連続です。
 私たちが泥にまみれて基盤づくりをしているこの原野が近い将来、秋田市の副都心として繁栄するだろうと想像できることが、唯一の慰めであり励みになっております。

延長三〇四m
 工期 五年五月三十一日
 現場代理人 小野俊剛
 ●石油備蓄交付金道路工事
 道路拡幅二四〇m
 工期 一月三十一日
 現場代理人 伊勢谷 寿
 ●下淀地区排水対策事業
 水路四五五m、暗渠六ha
 工期 三月十日
 現場代理人 成田義則
 ●秋田港防波堤工事
 ホールプロツ製作一四二個
 工期 三月十日
 現場代理人 成田義則
 ●沖田台かんがい排水工事
 排水路三二八m
 工期 三月十日
 現場代理人 伊勢谷 寿
 ●自衛隊消防車庫建築工事
 鉄筋平屋八一㎡
 工期 三月十五日
 現場代理人 金子憲行
 ●レストラン希林新築工事
 木造平屋建八五七㎡
 工期 三月二十日
 現場代理人 加藤久人
 ●大湯村営住宅建築工事
 木造六棟、延四一五㎡
 工期 三月十日
 現場代理人 加藤久人
 ●秋田大学屋根防水工事
 ゴムアスリート防水
 工期 三月二十五日
 現場代理人 小憲憲史



現在実行中の主なる工事現場

- 秋田湾流域下水道工事
 コンクリート管布設
 工期 三月十九日
 現場代理人 三浦喜代見
- 重要港湾改修工事
 防波堤延長ほか
 工期 三月十九日
 現場代理人 渡部邦明
- 重要港湾改修工事
 浚渫二万㎡
 工期 三月十日
 現場代理人 佐々木敏雄
- 能代港灰捨護岸建設工事

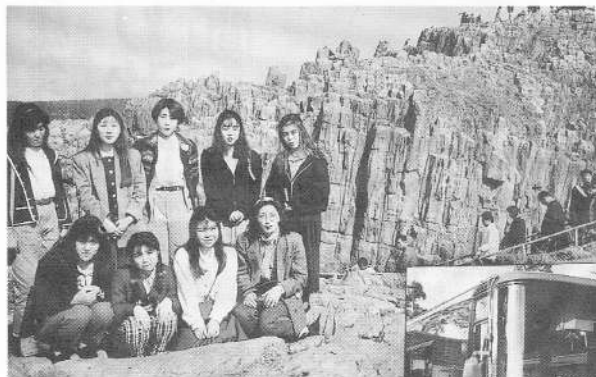
社員 旅行

初冬の北陸路を駆け足で

待ちに待った社員旅行も1泊2日の行程では東北地方に限られ、仲々見聞が広まりません。今年は、社長に特にお願ひして、夜行列車も含めて2泊3日、福井、金沢方面まで足を伸ばしました。

早朝に福井駅着、永平寺、東尋坊、九谷焼、那谷寺を見物して山中温泉泊。

2日目は、兼六園、加賀友禅館を見学して金沢駅から列車で帰路につき、会社に到着したのが深夜という強行軍でしたが、初冬の北陸路の風情はまた格別で、2ヵ月たった今になって、ジワジワと楽しい思い出が湧いてきている感じです。



女性軍全員集合
—東尋坊—

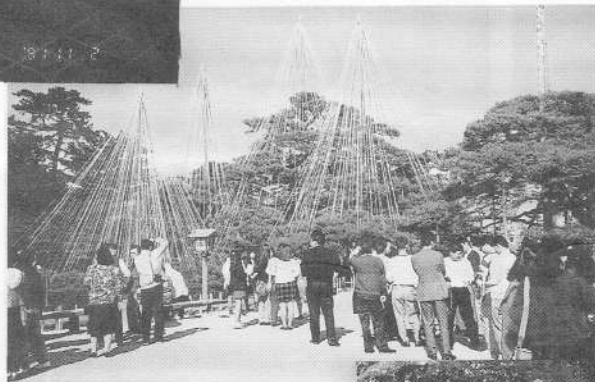
1個ウン百万円の壺
—九谷焼—



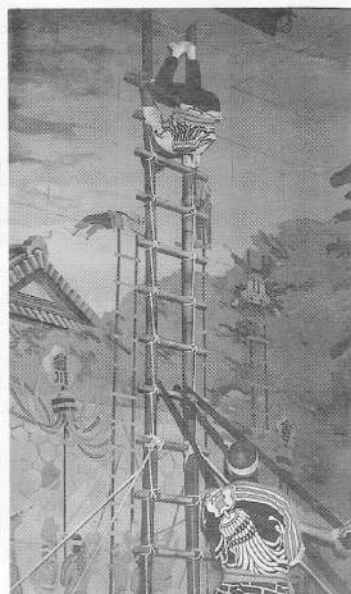
昼食もそこそこに
バスで次の観光地へ



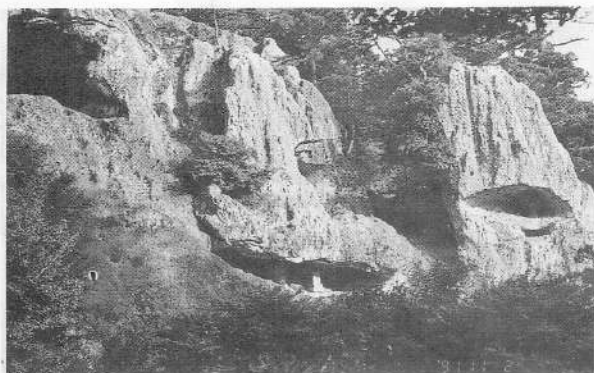
兼六園の象徴雪吊り



加賀の火消し
友禅館での実演



山中温泉での懇親会の写真が無いのは、どうしたことかと聞かれそうですが……。
楽しい思い出は、それぞれの心のフィルムに鮮明に焼き付け、ときどき心のビデオに再生できると思っって省略しました。
次回の社員旅行を楽しみにして下さい。



石山の石より白し秋の風
—那谷寺 (芭蕉)—



ことじ灯籠

宗派を超えて
曹洞宗大本山 永平寺

平成三年度協力会総会

協力をより強固に

新会長に 下間 正さん

平成三年度の株式会社加藤組協力会の総会は、十二月二十二日、男鹿温泉白竜閣において、会員百名が参加して開催し、新会長に下間正さんを選出、懇親を深めるなかで会員の協力をより強固なものにすることを誓い合った。



あいさつする
武田会長

会長あいさつ(要旨)
平成三年度、当社は同業他社にさきがけて、四週五休制を導入した。休日が増えることは働くものにとつて、よいことであるので、今後は実収の増を目指していきたい。
最近、世の中は便利になりすぎて、使い捨て、物を粗末にするようになってきているが、私たちは、資源愛護、再利用などにも注意を払いながら、よい道路、よい建物、よい社会づくりのため、力を合わせて頑張っていきたい。



自主性を期待する
加藤社長

社長あいさつ(要旨)
建設業界をとりまく環境は一層厳しくなるなかで、労働情勢は大きく変わりつつある。上から働き、働けと気合いをかける時代ではなく、作業者個々が、それぞれ担当している仕事の中心を認識し、現場代理人を中心に、自主的に、効率的に工夫して実施していかなければならない。
今こそ、協励会発足当時の趣旨を振り返って頑張っていたきたい。
絶えず全力疾走することは無理である。建設業も3Kから「安全に、楽に、清潔に」の時代になった。
健康に十分留意し、企業としての役割りを果たすよう期待する。



協力を強調する
加藤会頭

会頭あいさつ(要旨)

作業を進めるに当たって、何よりも大切なことは健康である。それは会社のためというよりも、自分自身、家族のために大切である。
社歌でも協励を強調しているし、この会の名称も協力会である。

小さな雨の雫が集まって、やがて大河となり強力なエネルギーとなる。
健康で協力し、技能を高める努力を続けていただきたい。



新会長
下間 正さん



謝辞を述べる
大森悦夫さん

新会長略歴

昭和五三年三月 入社
六一年一月 土木副主任
平成三年六月 建設機械主任
新副会長

天野 孫友(留任)
佐々木敏雄(新任)
三浦 厚子(新任)

よく食べ、よく飲み、そこから真の協力が生まれる



蓬田京子さん
(土木課)



鈴木一秋さん
(日本アスコン)



大森悦夫さん
(秋田建設運輸)

安全表彰



加賀 章さん
(土木課)



秋山俊則さん
(土木課)



佐藤庄栄さん
(整備副主任)

一般表彰

表彰された方々

指差呼称の定着

思いやり運転の徹底

安全衛生委員長 太田 健一



明けましておめでとございます。

一月一日付けで平成4年度の安全衛生委員長を命じられました。皆さんのご協力をえながら安全衛生の維持向上に努め、当社をゼロ災職場にするため頑張りたいと思っております。

最近、人手不足が深刻化しています。現場代理人も兼務が多く、作業員は少なく、下請業者の確保も容易でない状態です。工期に追われ、ともすれば安全どころではない、という感じを否定できない現場の状態です。しかし、いまこそ安全第一の初心に返って仕事を進めなければなりません。今年、次の二点を安全重点目標に定めましたので、従業員の皆さんは、この趣旨を十分理解し、肚の底まで「安全」の二文字を浸透させて下さい。

指差呼称を定着させ 労働災害の 絶滅を図ろう

事故防止のため、作業行動前に安全の確認は誰でも実行していることですが、現場の事故、ヒヤリハットが無くなりません。それは、事前の安全確認をただけに頼っているからです。ただ単に見ただけでは、認識がいまいで安全行動に結びつきません。そこで今年から実施しようとしているのが指差呼称です。

この手法は、JRが国鉄時代に取り入れ、効果をあげたものですが、目で見ただけではなく、指で差し、言葉にだすことにより、現場の状態の把握、認識、対応が完全に体につき安全行動につながります。皆さんも、駅などで見かけたことがあると思いますが、現在では、ほとんどの企業で指差呼称を実施し、効果をあげております。当社の導入が遅きに失した感もありますが、ぜひこの手法によって事故防止の効果をあげたいと思っております。指で差し、声をだして確認することの効果は理解できても、照れくさくてやれない、というのが実感であると思えます。しかし、安全確保のため、自分の体を守るためには、照れくさいとか、面倒くさいということは許されません。指差呼称しなくても安全確保ができるという考え方は、思いあがりも甚だしいといわ

ざるをえません。今年度は指差呼称を確実に実行し、定着させましょう。決めたことは守る。これが唯一、最大の要件です。

交通事故の重大さを
認識し
思いやり運転に
徹しよう

平成3年度 安全標語優秀作 よいかOK元気に合図 連絡万全無事故の職場

土木課 鎌田 フキ子



現場での声が小さい、活気がないと注意されておりましたが、最近では「ええが」「OK」などと大きな声で言葉を掛け合っています。それをそのまま並べて応募したところ、金賞を戴き、私自身びっくりしています。どこの職場でも元気な合図を徹底すれば、事故を防げると思います。



慣れた作業に油断はないか
小さな手抜きがケガのもと

機械主任 鈴木 一 秋



安全旗仰ぐ瞳に無事故の光

総務主任 三浦 久美子

加藤組のあゆみ 14

職員 宿舍 建築 社内運動会開催 の思い出

今回は、職員 宿舍の建築と運動会の開催についてお話ししたいと思います。

昭和四十年代は、前に太田部長（昭46入社）もこの欄で書いておりましたが、同業他社とも、会社が一斉に休むのは、お盆と正月だけというのが当たり前の時代で、年間百五十件前後の件数の大部分を直営で消化するためには、日曜、祝日などはないも同然でした。

そんな時代でしたが、従業員の福利厚生面の充実を図るため、従業員用の住宅を建築しようと考え、雇用促進事業団の制度、資金を活用するた

め、昭和四十五年六月に申請し、翌年五月着工、十一月十九日に竣工式を迎えることができました。

当時としては、RC三階建の住宅は珍しく、また一戸当たり60㎡は十分の広さだったと思います。

宿舍の機能がどんなものかを試験しようということで、私が第一号の入居者となり、ひと冬過ごしました。今は高層建築の集合住宅で暮らすのは当たり前の時代ですが、私自身初めての経験であり不安もありましたが、快適な生活をしました記憶があります。

家賃は一カ月四千八百円で

作業員の賃金が男千七百円、女九百円の頃です。

当社が法人組織に変更したのが昭和二十七年十月一日ですが、二十年目の昭和四十七年に、何か記念のお祝いしようという話になりましたが、ただ酒席を設けるよりも、従業員一同の体力作りを楽しくやろうということで、運動会を企画しました。丁度十月一日が日曜日でしたので、慌しく実施にこぎつけました。

場所は加藤先生の敷地内の畑をブルドーザーで整地し、狭い所でしたが秋晴れのもとに心地よい汗を流し、終わってからの一杯が格別な味わいだったことを思い出します。

参加者は男百三十一名、女七十三名、計二百四名（29歳以下21名、30歳台53名、40歳台75名、50歳台40名、60歳以上15名）でした。

その後、第四回からは地域の人が加わり、第五回からは取引業者の人達も参加するようになり、一回も途絶えることなく、昨年九月二十二日には第二十回の記念大会を実施することができました。

たとえ小さな運動会でも、継続することが、従業員の融和のために大きな役割を果たしていると思います。

（専務取締役 沢田正司）

ファミリー紹介

第36海光号艇長

本川良忠さん夫妻

良忠さん（47歳）
栄子さん（43歳）



今までのファミリー紹介は賑やかな家族をとりあげてきましたが、今回は、二人きりの、しっとり静かな家庭の紹介です。

シア方面に就航して十年、加藤組に入社してから十三年も港湾関係の仕事に従事しており、根っからの海の男です。昭和四十四年秋に独立して

北浦相川に自宅を新築しました。そして翌年三月、下田電機に勤務している栄子さんと結婚しましたが、栄子さんの実家も漁業に従事しており、まさに海によって結ばれた縁です。

昭和五十三年四月に加藤組に入社、第三十海光号の甲板員として再スタートしました。その後、海光丸の船長なども歴任し、平成元年四月から第三十六海光号の艇長として当社の港湾事業の中心として頑張っております。

本川さんが一番苦労したのは最愛の奥さんが病気になることと眼を輝かせております。

秋大付属病院に入院した八カ月前です。完全看護というものの、仕事が終ってから毎日のように秋田へ通って看病し、夜遅く帰宅してから洗濯や炊事をし、しかも会社の仕事は完全に成し遂げるという人間業を超えた苦労をいたしました。会社を辞めようと思ったことが何度もありました。

本川さんの苦労が実を結び奥さんも元気になりました。

子供のいないのが淋しいと思いますが本川さんは「海光号が私の息子です。いつも息子と一緒に仕事をしている」と眼を輝かせております。

明けておめでとうございます。

昨年は、国の内外とも多事多難な年でありました。今年こそ平穏な年を願っておりますが、困難さを乗り越えていくファイトも大切だと思います。

編集後記

十二月に、例年より早めの積雪があつて驚かされましたが、今年も暖冬の気配です。スタッドレスタイヤのはき心地はいかがですか。静かな優しい運転によって事故を防ぎましょう。

◆ ◆ ◆

接遇の心得
はいという素直な心
すみませんという反省の心
お蔭様という謙虚な心
私がやりますという奉仕の心
ありがとうという感謝の心

長い間
ご苦労様でした

定期退職 3・12・31付

○鎌田惣市郎さん

○畠山 文雄さん

自己都合による退職

○加藤洋子さん 3・8・31付

○鈴木太郎さん 3・12・14付

JRへ帰任

○門脇敏男さん 3・8・20付